

(数 学) 学 習 指 導 案

日 時	平成16年 5月25日(火)第2時限	授業者	(省略)
クラス	普通科 1年B組	場 所	2 2 4 教室
単 元	方程式と不等式	教科書	新編 数学 (数研出版)
指導目標	数を実数まで拡張することの意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに、一次方程式及び二次方程式の理解をふかめ、それらを活用できるようにする。	指導計画	第1節 式の計算…………… 8時間 第2節 実数…………… 5時間 第3節 方程式と不等式 1 絶対値を含む方程式…………… 1時間(本時) 2 1次方程式と1次不等式…………… 5時間 3 2次方程式…………… 5時間

本時の指導

主題(教材)	絶対値の付いた方程式の解法				
前時の課題	絶対値について復習し、絶対値の計算ができるようにする。				
目 標	絶対値の定義を理解し、絶対値のついた簡単な方程式が解けるようにする。				
指 導 過 程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項	評価の方法・基準等	
	(導入)	1 絶対値について復習する。 2 本時の目標を確認する。	5	絶対値を正確にはずすことができるようにさせる。	< 関心・意欲・態度 > 目標の確認ができたか。 学習する意欲的な姿勢が見られるか。
	(展開)	1 例題を解く (1) $ x =3$ (2) $ x-2 =3$	10	プリントを使う。 場合分けをするために数直線を利用する。 1次方程式を正しく解かせる。	< 数学的な見方・考え方 > 場合分けが正しくできるか。
		2 練習問題を解く。	10		< 表現・処理 > 解法が正確で、うまく処理されているか。
		3 例題を解く $ x+3 =2x$	10	不適な解があることに注意する。	
(整理)	4 練習問題を解く。	10	机間指導を行い質問を受ける。		
	本時のまとめをする。	5	絶対値のついた不等式は省略する。	< 知識・理解 > 本時の学習内容が理解できたか。	
備 考	生徒数 男子11名、女子28名 計39名				